

# 環境活動レポート

第15版

対象期間 : 2024年4月1日～2025年3月31日

作成 : 2025年8月26日



Applied Ecology Management

株式会社 東環

## 目 次

1. 環境経営方針-----	1
2. 組織の概要-----	2
3. 対象範囲 -----	8
4. 環境活動計画-----	9
5. 環境目標と実績-----	1 0
6. 環境活動 取組み結果の評価-----	1 1
7. 環境関連法規の違反・訴訟などの有無-----	1 4
8. 代表者の総括-----	1 5

# 1. 環境経営方針

株式会社 東環	代表取締役 渡邊 忠隆
環境経営方針	制定日 2011年 1月 5日 改定日 2024年 1月10日

## 環境経営理念

理想的な環境の実現の第一歩は、  
**生命の共有を実感する社会 (biotic community) の創造**  
にある。よって、身近な標語として、  
**「あなたへ 子供たちへ 健全な世紀を贈りたい！」**  
を掲げ、全従業員が一致協力し、環境保全の範となるよう活動する。

## 環境経営方針

(株)東環は、産業廃棄物の中間処理および埋立最終処分を目的とした事業活動において環境理念と相和した行動指針を定め、環境負荷をできるだけ少なくする活動を推進する。

1. 地球環境の保全を推進するため、(株)東環が活動できる組織を整備する。
2. 環境関連の法律・規制および地域協定等の要求事項を遵守する。また共々に地球環境保全をめざす者として、地域の環境教育プログラムに施設見学会等をアピール・提供して相互理解を図り、地域と融合した施設として社会貢献する。
3. 環境教育・社内広報活動を実施して従業員への環境方針の周知徹底と意識向上を図る。また、より良い維持管理のために、廃棄物・環境その他関連の資格取得を奨励し拡充に努める。
4. 受託廃棄物処理に関して再資源化を検討・推進し、あわせて処分場の延命化を図る。また LCA 評価手法の導入等により、より環境負荷の少ない廃棄物処理基準を確立し、理想の廃棄物処理を行なうべくシステムを開発推進する。
5. 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動の質的向上・環境管理システムの継続的改善により汚染の予防・環境浄化に努める。
6. 紙・電気・燃料等の資源については、減量・再利用・再生を励行し CO<sub>2</sub> 排出量の削減等の地球温暖化対策に努める。
7. この環境方針は、一般に公開する。

## 2. 組織の概要

(1) 商号 株式会社 東環

(2) 代表者名 渡邊 忠隆

(3) 所在地 エコプラネット秋田（管理型・安定型処分場・リサイクル・中間処理）  
〒010-0121 秋田県秋田市金足黒川1番地  
TEL. 018-873-7301 FAX. 018-873-7305  
E-mail : jim1@tokan-eco.co.jp  
URL : <http://www.tokan-eco.jp>

エコプラネット井川（リサイクル・中間処理）  
〒018-1525 秋田県南秋田郡井川町綱木沢1番地  
TEL. 018-855-6551 FAX. 018-855-6550

(4) 設立年月日 平成3年3月27日

(5) 資本金 3千万円

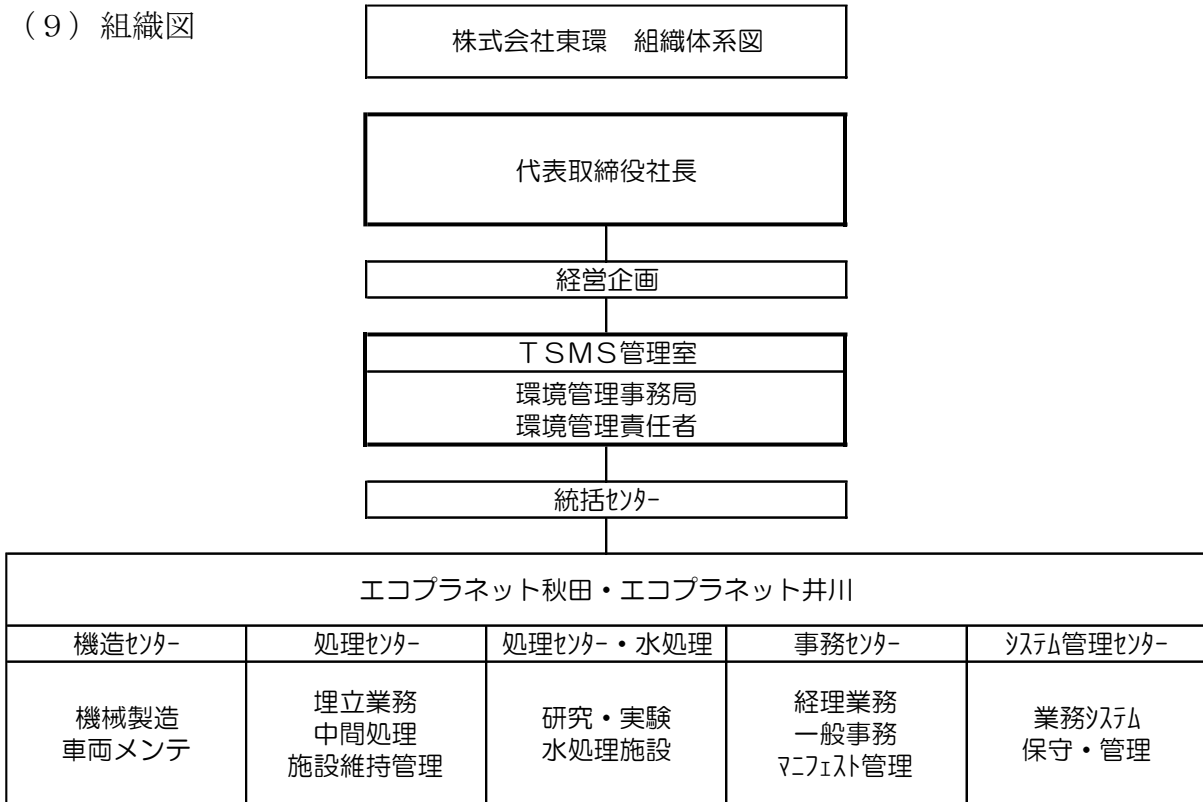
(6) 売上高 1,427百万円

(7) 従業者数 32名

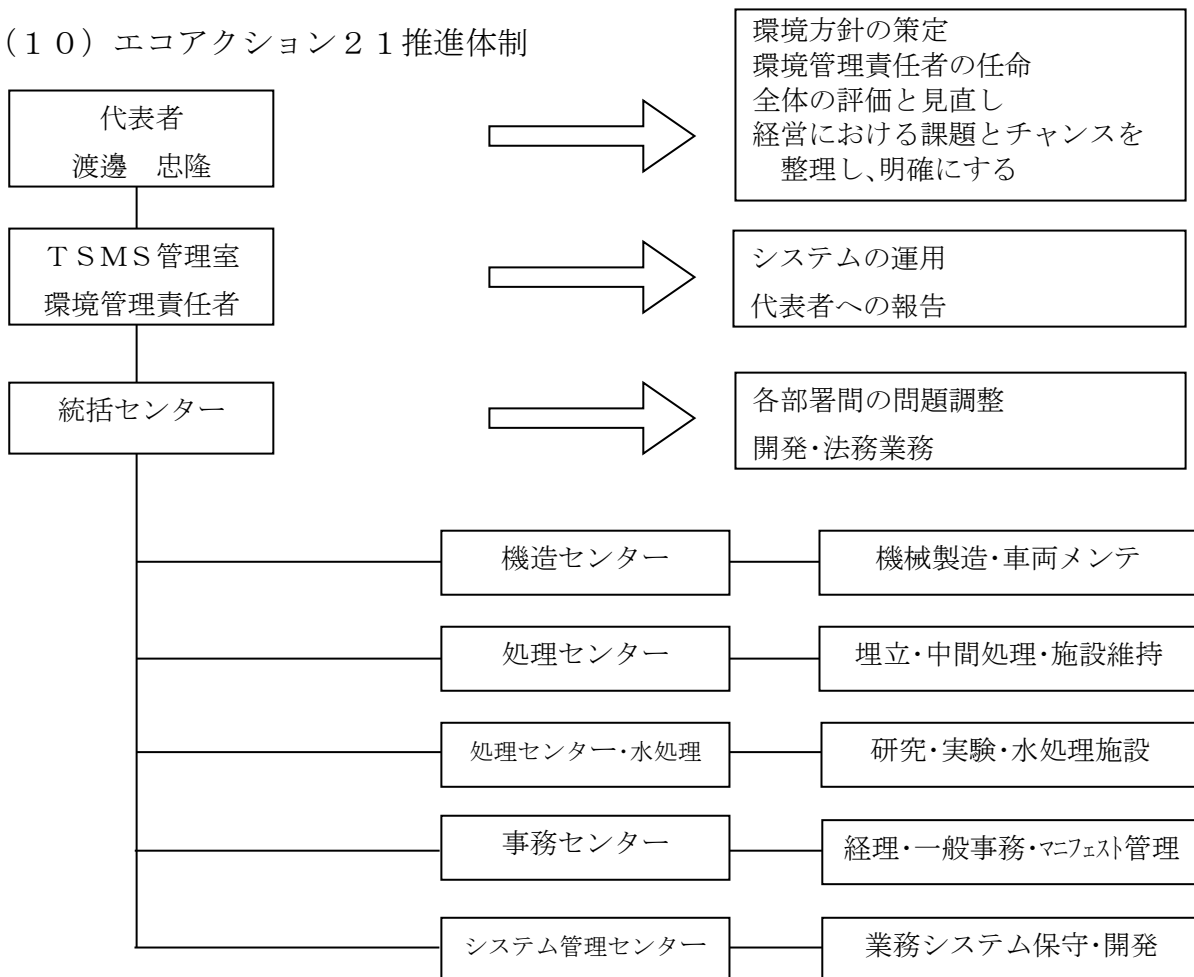
(8) 事業概要

- ・産業廃棄物収集運搬
- ・特別管理産業廃棄物収集運搬
- ・産業廃棄物最終処分
- ・特別管理産業廃棄物最終処分（廃石綿）
- ・産業廃棄物中間処理
- ・再資源化製品製造・販売
- ・汚染土壌処理

(9) 組織図



(10) エコアクション21推進体制



## (11) 保有施設

施設の種類	設置場所	能力
安定型最終処分場	エコプラネット秋田	32,148m <sup>2</sup> 327,030m <sup>3</sup> (残容量 9%)
管理型最終処分場	エコプラネット秋田	95,228 m <sup>2</sup> 2,004,000 m <sup>3</sup> (残容量 1%)
破砕施設	エコプラネット秋田	廃プラ 90 t/日 木くず 60 t/日 金属くず 60 t/日 がれき類 60 t/日
破砕施設	エコプラネット井川	廃プラ 28.5 t/日 木くず 38 t/日

## (12) 保有車両

車両名	保有台数	所属部署
油圧ショベル 336	3	処理センター
油圧ショベル 320	5	処理センター
油圧ショベル 311	3	処理センター
油圧ショベル 040	1	処理センター
ホイールローダー910	3	処理センター
ホイールローダー901	1	処理センター
ブルドーザー D85	2	処理センター
ディーゼルフォークリフト	3	機造センター
電動フォークリフト	4	処理センター
クローラーキャリア	8	処理センター
クローラークレーン	1	処理センター
8t ユニック	1	機造センター
クレーン車	1	機造センター
ロータリ除雪車	1	機造センター

(13) 産業廃棄物処理実績

産業廃棄物処理 施設の種類	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
	種類	年間処理量	種類	年間処理量	種類	年間処理量
安定型最終処分場	廃プラスチック類	0.0 t	廃プラスチック類	0.0 t	廃プラスチック類	0.0 t
	ゴムくず	0.0 t	ゴムくず	0.0 t	ゴムくず	0.0 t
	金属くず	0.0 t	金属くず	0.0 t	金属くず	0.0 t
	ガラス・陶器くず	0.0 t	ガラス・陶器くず	0.0 t	ガラス・陶器くず	0.0 t
	がれき類	0.0 t	がれき類	0.0 t	がれき類	0.0 t
	合計		0.0 t		0.0 t	

産業廃棄物処理 施設の種類	2022 年度		2023 年度		2024 年度	
	種類	年間処理量	種類	年間処理量	種類	年間処理量
管理型最終処分場	燃え殻	13,586.1t	燃え殻	14,562.4t	燃え殻	13,281.7t
	汚泥	10,021.5t	汚泥	5,251.6t	汚泥	6,780.6t
	廃プラスチック類	4,070.2t	廃プラスチック類	4,040.8t	廃プラスチック類	3,253.6t
	紙くず	309.2t	紙くず	38.3t	紙くず	99.3t
	木くず	372.4t	木くず	121.8t	木くず	210.8t
	繊維くず	135.0t	繊維くず	19.2t	繊維くず	21.5t
	動植物性残渣	5.8t	動植物性残渣	6.2t	動植物性残渣	7.3t
	ゴムくず	0.4t	ゴムくず	0.0t	ゴムくず	0.0t
	金属くず	92.6t	金属くず	836.1t	金属くず	34.5t
	ガラス・陶器くず	1,284.6t	ガラス・陶器くず	427.3t	ガラス・陶器くず	653.6t
	鉱さい	830.7t	鉱さい	876.7t	鉱さい	765.0t
	がれき類	325.8t	がれき類	323.7t	がれき類	1,176.5t
	ばいじん	1,240.8t	ばいじん	932.4t	ばいじん	947.1t
	13号廃棄物	275.3t	13号廃棄物	653.3t	13号廃棄物	953.0t
	廃石綿	8.3t	廃石綿	1.6t	廃石綿	1.3t
	合計		32,558.7t		28,091.4t	

中間処理の方法	2022 年度		2023 年度		2024 年度	
	種類	年間処理量	種類	年間処理量	種類	年間処理量
破砕	廃プラスチック類	18,044.5t	廃プラスチック類	17,897.6t	廃プラスチック類	16,380.4t
	紙くず	320.8t	紙くず	269.2t	紙くず	387.5t
	木くず	2,137.0t	木くず	2,593.2t	木くず	1,375.3t
	繊維くず	4.0t	繊維くず	4.0t	繊維くず	3.7t
	ゴムくず	10.5t	ゴムくず	2.0t	ゴムくず	3.7t
	金属くず	163.7t	金属くず	181.3t	金属くず	238.8t
	ガラス・陶器くず	252.3t	ガラス・陶器くず	343.2t	ガラス・陶器くず	1,205.1t
	がれき類	1,969.3t	がれき類	2,059.7t	がれき類	2,284.5t
	合計		22,902.1t		23,350.2t	

(14) 廃棄物処理料金

廃棄物種類	価格
建設廃材（がれき類）	5,000 円
金属くず、ガラス・陶磁器くず	8,100 円
木くず	20,000～30,000 円
紙くず、繊維くず	30,000 円
廃プラ、ゴムくず	25,000～30,000 円
発泡スチロール	101,000 円
汚泥	15,000～20,000 円
焼却灰	20,000～25,000 円

※上記の金額は t 当りの目安価格（消費税別途）です。

性状・形状・搬入量・含有物質等により価格が変動します。

(15) 許可取得状況

	許可行政	許可番号	許可年月日	有効期限	備考
処分	秋田市	8640041278	令和 3 年 8 月 24 日	令和 10 年 7 月 14 日	安定型 管理型 破碎施設
	秋田市	8680041278	令和 7 年 6 月 26 日	令和 14 年 5 月 31 日	特管最終
	秋田県	00524041278	平成 31 年 3 月 31 日	令和 8 年 3 月 30 日	破碎施設

	許可行政	許可番号	許可年月日	有効期限	備考
収集運搬	秋田県	0504041278	令和 7 年 8 月 19 日	令和 12 年 8 月 15 日	※注 1
	秋田県	0554041278	令和 7 年 8 月 19 日	令和 12 年 8 月 15 日	※注 2

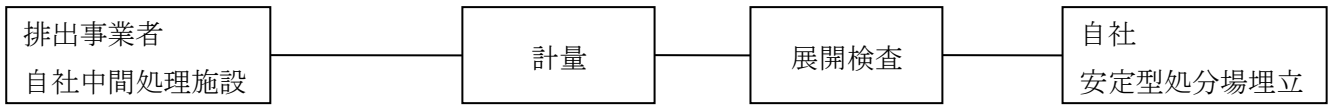
※注 1：取り扱う産業廃棄物の種類 ア 燃え殻、イ 汚泥、ウ 廃プラスチック類、エ 紙くず、オ 木くず、カ 繊維くず、キ 動植物性残渣、ク ゴムくず、ケ 金属くず、コ ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、サ 鋳さい、シ がれき類、ス ばいじん、セ 13号廃棄物 以上14品目

※注 2：特別管理産業廃棄物

取り扱う特別管理産業廃棄物の種類：廃石綿に係るもの

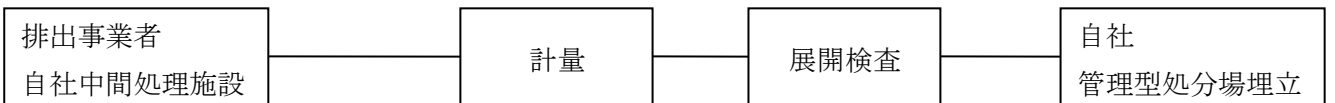
(16) 産業廃棄物の処理工程図

■安定型最終処分場 許可番号：秋田市 8640041278



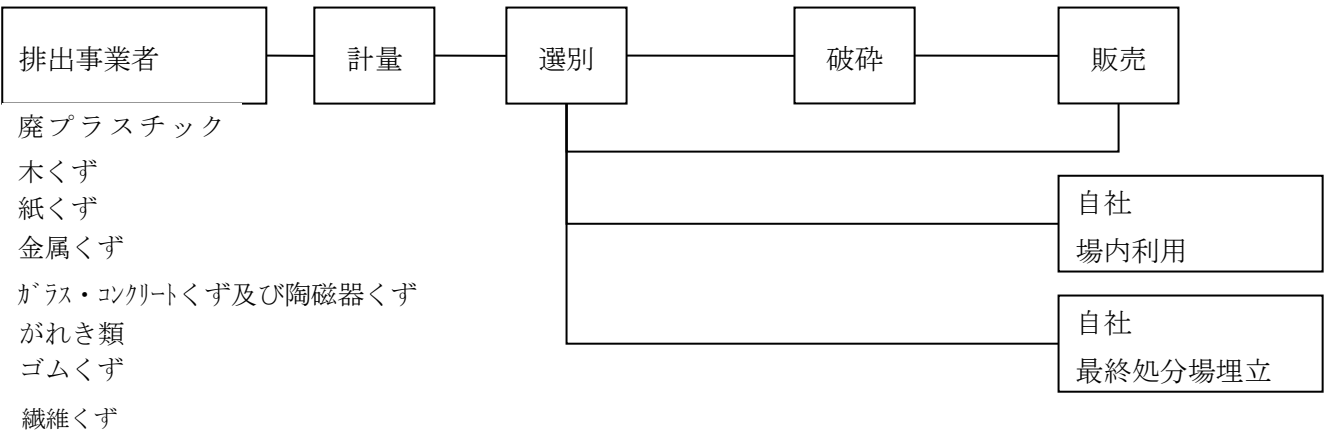
ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず  
がれき類  
廃プラスチック類  
ゴムくず  
金属くず

■管理型最終処分場 許可番号：秋田市 8640041278



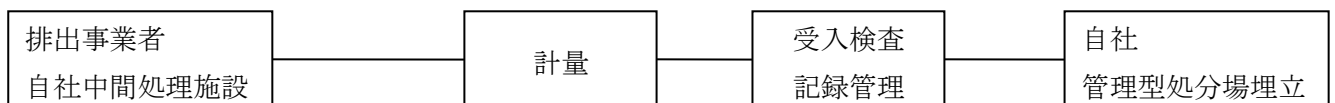
燃え殻	動植物性残さ
ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥
がれき類	紙くず
廃プラスチック類	木くず
ゴムくず	繊維くず
金属くず	鉋さい
ばいじん	13号廃棄物

■中間処理施設



廃プラスチック  
木くず  
紙くず  
金属くず  
ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず  
がれき類  
ゴムくず  
繊維くず

■特別管理産業廃棄物処分 許可番号：秋田市 8680041278



廃石綿

### 3. 対象範囲

#### (1) 取組の対象範囲

株式会社 東環 エコプラネット秋田 (中間処理・最終処分)  
エコプラネット井川 (中間処理)

#### (2) 活動

産業廃棄物の中間処理、最終処分、再資源化製品製造・出荷(木類は破碎後に燃料として搬出)

#### (3) アクセスマップ



## 4. 環境活動計画

No.	環境目標	実施事項
1	電力による二酸化炭素削減 処分場使用量の削減	① 脱臭装置の効率利用 ② 空調温度の適正化 ③ 不要照明の消灯 ④ 破砕機運用の効率化
2	電力による二酸化炭素削減 水処理施設使用量の削減	① オゾン脱臭装置の効率運転 ② 曝気ブロワの効率運転 ③ 水回りの効率運転
3	重機・車両燃料による 二酸化炭素削減	① 荷卸し場、埋立場を効率良く設計する ② 重機・車両のメンテナンス ③ アイドリングストップ ④ 無駄の削減
4	水資源使用量の削減	① 薬品希釈水の削減 ② 節水の呼びかけ
5	脱臭装置 薬品使用量の削減	① 硫化水素発生量に伴う、適正使用量の確認をおこなう。 ② 代替物質の検討
6	水処理施設 薬品使用量の削減	① 浸出水増加に伴う操業技術の確立 ② 薬品適正使用量を見極める。
7	地域貢献	① 外清掃の実施（年3回） ② クリーンアップ活動への参加（年1回）
8	課題解決	① 有給休暇消化の取組み ② 業務に必要な資格取得

## 5. 環境目標と実績

### (1) 環境目標

取組み	環境目標				
	目標内容	基準値(2022年度)	2023年度	2024年度	2025年度
1. 電力使用量の削減	処分場使用量の削減 (CO <sub>2</sub> 換算値)	297,751 kg-CO <sub>2</sub>	2%削減 291,796	4%削減 285,841	6%削減 279,886
2. 電力使用量の削減	水処理使用量の削減 (CO <sub>2</sub> 換算値)	157,740 kg-CO <sub>2</sub>	2%削減 154,586	4%削減 151,431	6%削減 148,276
3. 燃料使用量の削減	ガソリン+軽油使用量の削減(CO <sub>2</sub> 換算値)	315,394 kg-CO <sub>2</sub>	2%削減 309,086	4%削減 302,779	6%削減 296,471
4. 水資源使用量の削減	水道水使用量の削減	1,425 m <sup>3</sup>	2%削減 1,397	4%削減 1,368	6%削減 1,340
5. 化学物質使用量の削減	処分場使用(臭気対策) 使用量削減	26,523 kg	2%削減 25,993	4%削減 25,462	6%削減 24,932
6. 化学物質使用量の削減	水処理使用(水質対策) 使用量削減	363,589 kg	2%削減 356,317	4%削減 349,046	6%削減 341,774
7. 地域貢献	場外清掃活動(年3回)	100%実施	100%	100%	100%

※ 燃料使用量 (灯油・A重油・ガソリン・軽油使用量の総計)

### (2) 実績 2024年度(2024年4月～2025年3月) 基準年比

取組み	環境目標	基準年実績	2024年度 目標と実績		評価
		2022年度	目標値	実績値	
1. 電力使用量の削減	4%削減	297,751 kg-CO <sub>2</sub>	285,841 kg-CO <sub>2</sub>	309,505 kg-CO <sub>2</sub>	×
2. 電力使用量の削減	4%削減	157,740 kg-CO <sub>2</sub>	151,435 kg-CO <sub>2</sub>	87,742 kg-CO <sub>2</sub>	△
3. 燃料の削減	4%削減	315,394 kg-CO <sub>2</sub>	302,779 kg-CO <sub>2</sub>	311,609 kg-CO <sub>2</sub>	×
4. 水道水の削減	4%削減	1,425 m <sup>3</sup>	1,368 m <sup>3</sup>	2,323 m <sup>3</sup>	×
5. 化学物質削減(臭気)	4%削減	15,100 kg	14,496 kg	13,450 kg	○
6. 化学物質削減(水質)	4%削減	382,130 kg	366,845 kg	885,300 kg	×
7. 地域貢献	100%実施	100%実施	100%実施	100%実施	○

※ ○：目標達成(目標値、前期実績 両方達成) △：要改善(目標値、前期実績 どちらか達成)

×：不適合(目標値、前期実績 両方未達成)

※ 二酸化炭素排出係数：0.457kg-CO<sub>2</sub>/kwh

## 6. 環境活動 取組み結果の評価

2024年度は既設の管理型最終処分場が間もなく満杯という状況に対して、嵩上げ変更許可申請の手続きが遅れて厳しい運営を迫られた。本書作成時においては無事に変更許可が降りているが、エコノミーとエコロジー、二つのエコに対しては今後も鋭意取り組んでゆく。

エコノミー活動としては、電力や燃料、及び水道水使用の無駄の削減は、従業者のエコアクション21への理解を深め意識的な取り組みを継続しているが、各項目別消費量のより詳細なデータを収集し、現状漠然としている評価をどこまで具体的な取り組みと結果に繋げられるかを課題として取り組んでゆく。

エコロジー活動は、美化活動、清掃活動を計画通り実施した。周辺地域の田圃等に配慮し除草剤等薬品を使用しない除草作業を継続して実施した。また、カーボン・オフセットの観点から「秋田杉森林吸収 J-VER クレジット」を購入し、秋田市と共に環境貢献の一助とした。

### 1. 電力使用量の削減(処分場・事務所) 評価：×

実施事項	取組結果の評価	次年度の取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱臭装置の冬期間凍結防止ヒーター使用の効率化</li> <li>・事務所棟エアコンの節電</li> <li>・破碎機稼働効率化の取組み</li> </ul>	<p>今年の取組結果は「×」で108%となった。</p> <p>処理センターでの主な電力用途は管理型処分場の脱臭装置（外周25期、本管8基）、及び中間処理破碎機があり、冬期間に脱臭装置内部液凍結防止用のヒーターの使用が追加される。また、事務所では冷暖房用のエアコン（合計9台）を使用している。</p> <p>脱臭装置の稼働状況は平年通りだが、年度末に冷え込みの厳しい期間が長引いた影響で凍結防止ヒーターの使用期間が長かった。</p> <p>事務所のエアコン使用は屋外作業の従業者の体調管理を第一に考えながらも不要と思われるタイミングで積極的に電源をOFFにした。</p> <p>破碎機の使用は保管ヤードに一定量貯留された後に集中して実施したことで効率的な運用が出来た。</p> <p>本年度の取組みは108%という結果だが、既存処分場の変更許可申請と新規処分場設置許可取得手続きが平行で進んでいることで、大量の協議書類及び申請書類の出力があった為、レーザープリンター複合機の使用頻度が極めて高かったことも要因としてあると考えられる。取組みは継続して実施してゆく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組みの継続</li> </ul>

## 2. 電力使用量の削減(水処理) 評価：△

実施事項	取組結果の評価	次年度の取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オゾン脱臭装置の効率運転</li> <li>・曝気ブロワの効率運転</li> </ul>	<p>今年度の取組結果は「△」で58%となった。</p> <p>曝気ブロワの運転は、浸出液貯留状況に合わせ過不足なく適正運転を管理実施した。</p> <p>オゾン装置の稼働を処理水質に応じて試験的に減じたことで一定の省電力を実現したが、年度中盤から長期メンテナンスが必要となったことで稼働率が激減し電力消費は少なかった。</p> <p>年間を通してオゾン装置の稼働率が低かったことで消費電力によるCO<sup>2</sup>削減目標値は達したが、満足する稼働状況とはいえないことから評価は△とした。次年度はオゾンの安定稼働と運転強度の調整を実施して過不足のない水質実現を模索してゆく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曝気ブロワの効率運転の継続</li> <li>・オゾン装置の安定稼働</li> <li>・オゾン装置の効率稼働</li> </ul>

## 3. 燃料使用量の削減 評価：×

実施事項	取組結果の評価	次年度の取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄の削減</li> <li>・ガソリン使用量の削減</li> </ul>	<p>今年度の取組結果は「×」で103%となった。</p> <p>処理業務の効率化と燃費向上にもつながるメンテナンス、無駄なアイドリングの削減は継続しており効果をあげているが、9月に埋立て地形の大幅な修正が必要となり所有重機を集中的に全機稼働させた燃料消費量を最後まで相殺出来なかった。今後も埋立て作業の効率化による無駄の削減を実施しながら、中長期的な埋立て計画に基づいて業務にあたりたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組みの継続</li> </ul>

## 4. 水資源使用量の削減 評価：×

実施事項	取組結果の評価	次年度の取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬品希釈水の削減</li> <li>・洗車用水道水削減</li> </ul>	<p>今年度の取組結果は「×」で170%となった。</p> <p>脱臭装置内部液に使用される薬品希釈水は、脱臭装置の運転効率化により確実に削減効果が上がっている。</p> <p>洗車用水道水の削減を次年度以降も課題に挙げて取り組んでいく。洗車用水道水も現場重機での使用と物流大型車両での使用とに分かれているが、現在は用途毎の使用量が把握できていないことから、各水道栓に流量計を取り付けて詳細データを収集し個別具体的な管理が可能な体勢づくりを進めてゆきながら、雨水を集水利用する方法がとれないか検討してゆく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組みの継続</li> <li>・用途毎の使用量を把握して周知することで、削減目標の見える化を図る。</li> </ul>

5. 脱臭装置 薬品使用量の削減 評価：○

実施事項	取組結果の評価	次年度の取組
・薬品量の削減	<p>今年度の取組結果は「○」で93%となった。</p> <p>脱臭装置運用の最適化の成果が表れており、今後も硫化水素ガス発生量のモニタリングを継続し、季節毎の異臭漏洩リスクをカバーしながら効率的な運用を継続してゆく。</p>	・取組みの継続

6. 水処理施設 薬品使用量の削減 評価：×

実施事項	取組結果の評価	次年度の取組
・薬品量の削減	<p>今年度の取組結果は「×」で241%となった。</p> <p>昨年度から継続して、管理型処分場埋立の最終形に向けた埋立キャッピングの除去に伴う浸出水質の悪化への対応で薬品使用量が増加している。</p> <p>硝化・脱窒反応の安定化を目的とした苛性ソーダ・メタノールの添加量調整を継続しており、苛性ソーダ貯留槽の大容量化を実施して過不足のない供給体制とした。次年度はメタノール貯留槽の大容量化を計画している。同時に効率化の案も考えていく。</p>	・取組みの継続

7. 地域貢献 評価：○

実施事項	取組結果の評価	次年度の取組
・場外清掃の実施	<p>計画・実施できた</p> <p>例年の清掃計画として、GW連休、お盆連休、正月連休での弊社地元への帰省を考慮し「美しい田舎」「心のふるさと」を感じて貰えるよう長期連休前に実施している。</p> <p>熊の災害防止の観点から、弊社敷地において地元集落との境界付近の除草作業を実施した。</p>	・計画的に実施
・クリーンアップ活動への参加	10月3日、弊社から2名が参加した。	・開催時に参加

## 7. 環境関連法規の違反・訴訟などの有無

### (1) 環境関連法規等の遵守状況

法規・条例・規制	遵守状況	評価
廃棄物処理法	①廃棄物の収集運搬、処分業の許可	○
	②産業廃棄物処理責任者の配置	○
	③廃棄物の飛散、流出、悪臭のないこと	○
	④廃棄物保管場所の掲示板（掲示板：60cm×60cmの大きさ）	○
	⑤収集運搬・処分業者との契約	○
	⑥マニフェストの発行、回収、保管、報告（毎年6月末）	○
	⑦排出水の自主測定、報告、記録保存	○
	⑧特別管理産業廃棄物処理責任者の配置	○
	⑨生活環境影響評価（ミアセス）の実施（騒音、振動他）	○
	⑩秋田市への処理実績の報告	○
水質汚濁防止法	①特定施設の設置届出、変更届出	○
	②排水基準の遵守	○
	③排出水の自主測定、報告、記録保存	○
浄化槽法	①定期的保守点検・清掃の実施	○
	②検査機関の定期的水質検査の受検	○
消防法	①危険物貯蔵所の設置許可	○
	②少量危険物貯蔵所の設置届出と変更届出	○
	③標識、掲示板の設置	○
	④貯油槽漏洩防止（防油堤等）	○
	⑤指定可燃物貯蔵・取扱いの届出	○
省エネ法	①エネルギー使用量（原油換算値）の把握	○
森林法	①林地開発許可	○
生物多様性基本法	①生物の多様性の保全及び持続可能な利用	○
環境影響評価法	①検査機関の定期測定（騒音・振動・臭気）	○
フロン排出抑制法	①フロン含有機器の受入れ禁止	○
	②簡易点検、定期点検の実施	○

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はなかった。  
また、過去3年以内に地域住民からのクレームもなかった。

## 8. 代表者の総括

現在、当社は新規管理型最終処分場の設置許可取得を、既設管理型最終処分場の嵩上げ埋立てをおこないながら手続きを進めており、新処分場の営業開始時期に合わせた既設処分場の埋立て終了を目標として営業している。

管理型最終処分場は、埋立処分が終了をしても浸出液の安定が成されるまで長期間に亘って水処理施設が継続稼働する事から、大規模な施設の補修維持管理の時期に合わせた処理技術の高度化も検討をしており、新規処分場水処理施設のより良い運用に向けたモニタリングとデータ分析に基づく適正処理を既設水処理施設では推進している。

地球温暖化に対する論調は賛否両方が散見されるが、現場の肌感においても、気温や降水量においても、悪い方向に変化しており変動速度は増していると感じている。地元地域の環境保全に対して多大な責任を負う立場として、また循環型社会形成の一旦を担う立場として、広義の安心・安全を、環境経営を通じて追求してゆくことが当社の益になると考える。

来期も環境にやさしく、人にやさしく、未来を見据えた企業として業務改善を進めてゆく。

以上